

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

5 vol.11



国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー
メッセージ 手に手つないで 大きな力に 1
ガバナー 松本 新太郎

行動力に感服 (RAC活動報告) 7
大阪御堂筋RC 会長 森田 和明
大阪御堂筋RAC 岩津 賢典

2010～2011年度 IM第5組報告 2
大阪そねざきRC 会長 伊崎 順五
IM実行委員会 委員長 岩本 洋子

米山奨学委員会・ロータリー財団 8

2010～2011年度 IM第6組報告 3
大阪鶴見RC 会長 林 成志
IM実行委員会 委員長 佐藤 俊一

2011年3月度 会員数・出席報告 9

クラブ社会奉仕委員長会議報告 4
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

文庫通信 10

米山奨学生終了者歓送会 5
米山奨学委員会 委員 榊原 春枝

お知らせ 11-12

岩手県宮古での医療活動の報告 6
2008～2009年度 国際親善奨学生 倉内 菜穂子

敬弔 13



3月の東日本大震災は多くの方の尊い命を奪い、財産や日常を瞬く間に押し流してしまいました。原発事故に伴う電力不足は広範囲にわたる不自由な生活を強制し、放射能汚染による恐怖は全世界を震撼させました。

目を覆いたくなるような惨状にかつて経験したことのない大きな衝撃を受ける一方、避難所で暮らす方々の姿は、人と人が互いに助け合い生きていくことの大切さを、被災地から遠く離れた私たちにもおしえてくれました。

当地区でも震災の発生直後から「何とか力になりたい」「ぜひ支援したいので地区の方針を打ち出してほしい」と数多くの皆様からのお声をいただきました。ロータリアンの意識の高さと、その気持ちを実行に移す行動力に改めて感動した次第です。

私たちの地区では震災発生と同時に対応の検討を開始、まずは義援金を地区内各クラブから集めさせていただき、全国の地区ガバナーにより構成されるガバナー会でとりまとめた上で、被災地の各地区へとお届けさせていただくことと致しました。すでに数多くの皆様の善意をお寄せいただいていることに、心から感謝申し上げます。

ところでこれまでの一連の動きの中で感じましたのは、皆が協力して大きな力を発揮しようとする際には、足並みを揃えて行動することがいかに重要であるか、ということです。それぞれに様々な思いもあろうかと存じますが、地区内約3800人の思いを一つにして力強い支援を現地に届けるためには、言いたいことも多少我慢して何よりも全員の力を結集することに意識を向けなければなりません。

各クラブ、各会員のご意見も多種多様であるのは当然

ですが、地区として行動する際には統率のとれた動きを実現するための協調も必要です。さもないとバラバラなアクションではせっかくのパワーも霧散してしまい、十分な効果が得られないおそれもあります。

そしてまた現地のニーズを真剣に考え、それに対して自分たちに何ができるのかを熟慮することも重要です。「現地へボランティアに行きたい」「救援物資を送りたい」という、ロータリアンとしていてもたってもいられない心情はよくわかります。ただ、せっかくの奉仕の精神が自己中心的なものになってしまわないよう、自戒しなければなりません。私たちが行動を起こそうとするとき、それが結果的に「相手から感謝されたい」「自分たちが満足したい」という自己の欲求を満たすためだけのものに終わってしまうリスクも内包していることを自覚すべきです。そのような罫に陥ってしまいかねない行動は、冷静に客観的に判断した上で厳に慎まなければなりません。仮に深く考える前に軽率な動きをとれば、今回のような非常時にはかえって混乱を助長するだけではないでしょうか。

動揺や不安が収束し、社会そして人々の心が少し落ち着きを取り戻せば、やがて復興に向けた動きが本格化するでしょう。まちの復興が具体的な形として見え始めれば、それが一筋の光となって人々の心に注ぎ、心の復興への希望の明かりとなるはずです。

まさにゼロからと言っていいと思いますが、地域をもう一度育てていくには数年、いや数十年かかるかもしれません。第2660地区の私たちも手に手つないで力と心を合わせ、3800人の足並みを揃えた息の長い支援を行っていきたいものです。皆様の深いご理解とご協調を、よろしく願い申し上げます。

2010～2011年度 IM第5組報告

大阪そねざきRC 会長 伊崎 順五
IM実行委員会 委員長 岩本 洋子

テ ー マ：「私たちの知らない水問題」～地球・世界・日本～

ホ ス ト：大阪そねざきRC

日 時：2011年2月26日(土) 11:00～

場 所：ヒルトン大阪

参加クラブ：松本新太郎G・菅生浩三PG・神崎茂PG・横山守雄PG・西原房三G補佐(第3組)・
山田崇雄G補佐(第5組)・泉博朗G補佐(第8組)・森康次G補佐E(第5組)・池尻誠地区代表幹事・
IM第5組各RCメンバー・オブザーバー

出席者数：180名

「私たちの知らない水問題」全ての生物の命につながる大切な水、危機に直面する「水」をテーマにIMを開催させていただきました。私達日本人は、ややもすれば水はタダだと切実な関心がなく、かつ、危機意識に欠けているのではないかと思います。

世界、特に中東アラブ諸国での争いは水戦争といっても過言ではありませんし、貧困国での女性や子供達が、1日何時間もかけて飲み水等を汲みに行っています。そのことにより学校に行けなくて識字率の低下となっていたり、汚水による疫病がたえないのです。

また、日本の食料自給率は40%弱であり、食糧や石油等あらゆる生産に必要なきわめて貴重な水は、水の乏しい海外の水を使っているのです。

水についての個人、企業人そしてロータリアンの立場から真剣に考え、自ら実践する手がかりを1つでも多く見つけて頂くことを期待して開催しました。

プログラム1部では「危機に直面する“水”すべての生物にとって不可欠な水が危ない、水の危機は地球の危機でもある」と題して、映像によるプレゼンテーションを

行いました。

プログラム2部は大阪大学・大学院工学研究科教授宇山浩氏に基調講演をしていただきました。

出席者の皆様にコーヒーとサンドイッチの軽食をしていただいた後、プログラム3部は、「私たちの知らない水問題」についてのパネルディスカッションをしていただきました。

パネリストは宇山浩氏(基調講演に同じ)・更家悠介氏(サラヤ株式会社代表取締役社長)・藤原充弘氏(フジワラ産業株式会社代表取締役社長)とコーディネーターは萩尾みどり氏(女優)を迎えて行いました。

ロータリー財団の未来の夢計画にもある「水と衛生設備」にも繋がる水について参加者全員が認識を深め閉会しました。

なお、水に因んで本会議場前では大阪市水道局の水「ほんまや」を展示・配付するとともに、開会前・昼食時・閉会後にお茶席を設け、青少年交換学生を含めてお手前をさせていただきました。



2010~2011年度 IM第6組報告

大阪鶴見RC 会長 林 成志
IM実行委員会 委員長 佐藤 俊一

テ ー マ：夢ある日本の未来とロータリー
ホ ス ト：大阪鶴見RC
日 時：2011年3月5日 15:00~18:45
場 所：太閤園
登 録 者 数：774名
出 席 者 数：162名

本年度から「新世代奉仕」が、第5の奉仕部門として設置され、この奉仕プログラムの目的が若者の育成支援であることから、第1部においては、この若者の育成支援に焦点を当てて「新世代を担う若者をどう育てるか」のテーマで、招待パネリスト、ロータリアンを交えて、この問題を考えるパネルディスカッションを実施しました。

最初にコーディネーターの佐藤俊一より、政府の「子ども・若者育成支援推進本部」の作製した「子ども・若者ビジョン」を資料として紹介し、若者育成支援の総論的な考え方を共通の認識として把握してもらった。そして各クラブの行っている青少年活動のいくつかをとりあげたが、今回は主として20代より30代の若者を対象に話を進めることで各パネリストより意見を求めた。

パネリストの一人、谷本親伯大阪大学名誉教授より、今の学生の問題点として、国際学会において話の内容はよいのだが、外国語を含めてのコミュニケーション能力の不足を指摘されました。それには海外での体験と教養が必要とのこと。また今の大学教育のあり方についても辛口のコメントがありました。

次のパネリストの伴義孝関西大学名誉教授・府レクリエーション協会会長より「親指は何のためにあるのか」の問いがあり、親指の役割がものをつかむことから携帯を動かすという身体の経験を通り越して頭の中の動きのみになってしまっているのが現代の若者を象徴しているとの問題提起がありました。身体での経験がなく頭で考えすぎる傾向が友達づきあいのできない大学生を生んでいるとの指摘がありました。レクリエーション協会では「歩く」ということを再認識し、人とかかわり文化の回復を考えているとのこと（歩育）。また関西大学はロータリーとの繋がりをもち、過去ライラを通じての連携講座、関西大学ローターアクトの設立など、これからもロータリーと大学との連携プログラムを進めるための提案がありました。

3人目のパネリストは大阪RC会員でもある立野純三氏より自分の体験を通じての若者育成の見解をのべられました。大阪青年会議所に入会し、自己の国際感覚に目覚めたこと、その後、理事長時代にセイブザチルドレンジャパンを設立し現在も名誉理事長として活動していることの話がありました。企業のオーナーとしての立場からは企業の成長のためにはグローバル化は避けられず、若い企業人に対しては単に英語が話せ



るだけでなく日本人としてのアイデンティティをもち、日本の文化を説明できる人材を求めているとのことでした。

最近の若者は内向き傾向にあるのではないかと質問に対し、日本を離れることで就職活動に支障を生じる状況、あるいは大学側のカリキュラムの問題、受け入れ企業での問題もあり、また男性より女性のほうが国際交流に積極的であるとの現実もありました。

最後に佐藤パネリストより新世代プログラムの画像による紹介があり、プログラム自体は立派ではあるが今後とも検討すべき課題があるとの認識で終了しました。

第2部として原丈人氏の講演がありました。

講演内容はアメリカを中心とする現在の資本主義は株主至上主義であり、株主の利益を優先するあまり金融資本主義の欠陥を露呈しました。早くからこの欠陥と危機を予見し、会社の事業を通じて、会社の関係者・地域社会・地球全体に貢献することが価値として認められるとする公益資本主義を提唱し、日本こそがこの新しい資本主義の担い手となり得ると述べられました。この考えはロータリーの職業理念と相通じるものとおもわれます。

また、民間の活力を利用して、教育・医療・栄養不良の分野で発展途上国を援助し、貧困を解決する、画期的な仕組みを開発・実践されつつあります。それと共に、日本の若者たちに、これらの援助体験を通じてグローバルな視点と多様な価値観を身につけさせる人材育成プログラムを提案し、世界に貢献する日本人づくりのプロジェクトを呼びかけておられます。



日 時：2011年2月19日(土) 9:00～11:30

場 所：薬業年金会館

参加クラブ：松本G、岡部GE、矢野研修委員、五味財団法人道的補助金委員会委員長、
地区社会奉仕委員会委員、クラブ社会奉仕委員長
正岡クリニック院長 正岡哲(池田くれはRC)
NPO法人阪神自殺防止対策支援センター代表理事 大山智之(大阪堂島RC)
合計80名

今年度第2回クラブ社会奉仕委員長会議が2月19日、薬業年金会館で80名参加のもと開催されました。

冒頭、松本G、矢野研修委員より毎年各地で社会奉仕活動に取り組んでいることにお礼のお言葉がありました。

表地区社会奉仕委員長より活動報告を行いました。

- 昨年度に引き続き2009-2010年度クラブ社会奉仕活動事例集を発行しました。
- 環境保全活動 6/29、12/15、2/8
「豊かな環境づくり大阪府民会議」に出席。
- 薬物乱用防止活動 11/26
大阪府庁大阪府公館で下記のクラブが大阪府知事感謝状を贈呈されました。
大東RC、大東中央RC、池田RC、大阪城東RC、千里メイプルRC、堺北RC
- 献血活動 12/1
府立労働センターで下記のクラブが日本赤十字センターより表彰されました。

東大阪東RC(金色有功賞)、吹田西RC(金色枠)、東大阪西RC(銀色枠)

- 11/4 奄美地方豪雨災害義援金募集のお願いをしました。(月信1月号に報告とお礼を掲載)

第一部

五味地区財団法人道的補助金委員会委員長より「地区補助金」について及び地区補助金審査会の「次年度に向けた検討課題」の報告をいただきました。

第二部

国内の自殺者が13年連続で3万人を超えている現状について政府も自殺総合対策会議を開き、自治体などと連携して啓発活動を展開されています。

正岡クリニック・正岡院長 「無くそう自殺」

NPO法人阪神自殺防止対策支援センター

大山代表理事 「生きててええねん」

両先生に卓話をいただきました。

最後に岡部GEより本日の委員長会議の講評と謝意があり、川上社会奉仕委員会副委員長の閉会の挨拶で終了しました。



米山奨学生終了者歡送会

米山奨学委員会

委員 榊原 春枝
(大阪柏原RC)

日 時：2011年2月27日(日)
場 所：ハイアットリージェンシー大阪
参 加 者：松本G、岡部GE、近藤PG、磯田委員長、
米山各委員、大学指導教官、学友会、
各クラブ会長幹事、カウンセラー
計94名

2011年2月27日(日)、ハイアットリージェンシー大阪において2010-2011年度「米山奨学委員会 米山奨学生歡送会」が開催されました。

はじめに松本Gが「一人ひとりの夢が将来たくさん花開くことを楽しみにしています。そしてたくさんの人たちに“ありがとう”と言ってもらえる人になってください」とお祝いの言葉を述べられました。

次に近藤PGがカウンセラーへのお礼の言葉とともに、新しい生活に向かって巣立っていく留学生への励ましの言葉を贈られました。母国だけではなく、世界のどこへ行っても架け橋になってほしい。どこの国へ行っても最高の奉仕活動をしてほしい、という言葉が印象に残りました。会場で知り合ったベトナムの留学生は、これからすぐアメリカへ行く予定だと話していました。

母国に帰らず日本で就職する人、また違う国へと旅立つ人。いろいろだと思いますが、磯田郁子委員長が言われたように、これからもロータリーとの「縁」を大切に、米山奨学生だったことを人生の誇り、自信にして人生を歩いてほしいと、米山奨学委員一同願っています。

和やかな歓談食事が続く中で、今年度奨学生を終了する留学生の皆様松本Gより修了証書と記念品が手渡され、また去る2月19日(土)に大阪国際交流センターで行われた「第一回米山奨学生スピーチコンテスト」で最優秀賞に輝いた中国からの留学生、刘璐(リュウロ)さん

(大阪御堂筋RC)のスピーチも行われました。刘璐さんは6年前に来日し、日本の言葉はわかるようになったが、それだけでは理解できない異文化理解の難しさをスピーチしてくれました。「違いばかりに目を向けていては真の異文化理解はできない。心を開いて異なる文化にぶつかってみましょう」という言葉が、流暢な日本語とともに素晴らしかったです。

今年の終了式でも、カウンセラーをしていただいたロータリアンと奨学生の交流、ロータリーへの感謝の気持ちがたくさん述べられました。米山奨学生であったことを忘れず、今後もロータリーとの縁が末永く続くことを願っています。

最後に、今年度奨学生をお世話いただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様深く感謝申し上げます。



多くの方々からの激励のお言葉ありがとうございます。皆さんの後押しに非常に感謝しています。昨日岩手県から沖縄へ戻りました。拠点となっていた宮古は幸いにも役場の人・保健師等は津波からぎりぎりのところで逃げる事ができたようで行政が残っていたのでそのような地域の情報のみですがご了承ください。

今回は岩手県が医療支援を求めたのに対し沖縄県が1カ月間チームを5日交代で送り続けることを決めました。その第一陣(医師2名、看護師2名、事務2名)の一人として私は参加しました。3月22日に沖縄から東京へ飛び、予め物資を積みフェリーで送っていた救急車2台を東京から岩手県へひたすら運転しました。東北自動車道は緊急車両専用となっており、全国から支援に向かう警察・自衛隊・土木業者等が集まり異様な雰囲気でした。

24日ようやく宮古入りし、2日前の情報とは全く異なり、ライフラインはなんとかほぼ復旧していました。私たちは三つの避難所を担当し、住民の健康相談・内服薬の処方等を行っていきました。岩手県で沖縄ナンバーの救急車が走っているのを見ては人々は目が点になり、そこから話が膨らむのがとても楽しかったです。

震災から約2週間経ってからの活動でしたので慢性期に移行しており、寝たきり患者や医療行為の必要な住民は全員病院や施設への移動の準備がされていました。「私は大丈夫です」とおっしゃる住民が多いが、しかしよくよく話を聞くと内服薬が切れている方が非常に多かったです。車を持っている住民が多いもののガソリンスタンドは100台待ち、かつお金の心配をされている方もいたのでしょうか。皆声をあげずに不安を抱えている状況でした。

盛岡のホテルに移動する人を募集していたものの手を挙げる住民はわずか。いくら不便であっても自分たちで町を復興させたいという強い気持ちがあるようで、私はついつい納得してしまいました。昼間は家の片づけや仕事をしに皆外出するため、避難所は閑散としていました。地元の中学生のボランティアは大活躍しており、予想していた「悲壮感」は全くなく、私はむしろ地元の人々の結びつきと再び立ち上がろうとする強い気

持ちに安堵を感じながら岩手を去ることができました。町のどこに行っても「ご自由にどうぞ」と寄付された洋服や生活物品が置かれており、被災していない住民からの助けの手も色々な所で感じられました。

同時に「支援」や「援助」という概念についても深く考えさせられました。報道されていた食糧不足のピークは過ぎており、避難所も落ち着いており、沖縄チームも現地に入ってから地元の人たちの再生する力に圧倒されるばかりでした。ライフラインの素早い復旧も日本ならではの、幸いにも行政が残っていた宮古では災害後の復興の骨組みは既に出来上がっていました。他都道府県から乗り込んであれこれ言うのではなく、各自治体の「お手伝い」をしながら見守るのが今後私たちがすべきことではないかと思いました。これはもちろん宮古に限ったことであり、行政が残っていない他地域に関しては自衛隊・国境なき医師団・赤十字が担当しており、その地域の情報が全く入ってこなかったのが非常に残念でした。縦のつながりがしっかりしていた分、横のつながりがまだまだ欠けていました。また、一番最初に支援を要請した福島県にはなかなか積極的に行く団体がおらず、物資を運搬するのさえためらっていて心苦しい限りです。

これからどんどん通信手段が改善されることで復旧の格差もなくなることが期待されています。直接的な援助をしたい、何かしたいと悶々とする人はたくさんおられると思いますが、現場の混乱やガソリン不足を考えると今は見守って募金活動に励んでもよいのではと感じました。「沖縄でもこの津波のニュースは流れているのかね?」と尋ねる避難者もあり、私はひたすら日本中・世界中の人々が東北の人たちを気にかけていることを伝えてまわりました。直接このような活動に加わるのがスゴイともなんとも思いません。継続して被災者を応援する気持ちをこれから何年間も持ち続け、毎日節電等を通して何かを犠牲にし続けることが一番復興につながると思います。

私のこれからの人生にとってかけがえのない5日間となりました。ひとまず沖縄での看護の仕事に戻り、今後どうするか考えていきたいです。ここまでこれたのは皆さんのおかげです。ありがとうございます。 <2011年3月27日報告>



3月17日、大阪御堂筋RCの例会にローターアクト週間に先立ち大阪御堂筋RAC会長の西村真理さんに卓話をお願いしていました。例会場についた西村会長は大阪御堂筋RACで3月20日～21日の連休に「被災地への支援物資を届けたい」という申し出を受けました。ついでには提唱クラブである大阪御堂筋RCに資金援助をお願いしたいという旨でした。大阪御堂筋RACではも

うそこまでのことを考えているのかという驚きといち早い行動力に感服し、ロータリークラブとして出来るだけの支援をRACにしてあげようということになりました。ただし、現地に行くことに関してロータリークラブとして賛否両論ありましたが最終的にRACの強い意志を尊重して認めることになりました。以下はRACが実際に行った行動を報告して貰ったものです。

■活動報告書

大阪御堂筋RAC 岩津 賢典

- 3/15 自分達に何か出来ないかを考え情報収集を始める。茨城県の被災状況の報道が少なく救援物資の不足をツイッターで知る。
- 3/16 茨城県社会福祉協議会と連絡を取り、今すぐにも来てもらいたいとの要請を受け、要望に従った物資を手配。
- 3/17 RACのメンバーが物資を持って来てくれる(乾電池・生理用品等)。また、他のメンバーはホームセンター等を廻って物資を集めてくれる。
- 3/18 3トントラックのレンタカーを借りトラックで物資を集めに走る。
- 3/19 中央道で現地へ向かう。
- 3/20 茨城県立スポーツセンターと北茨城市役所で物資を降ろし、現地を出発。
- 3/21 帰阪

感想としては、想像以上に悲惨な状況で街でも特に沿岸部が壊滅的な被害です。メディア等では仙台や福島など東北地方が重点的に報道されていますが茨城県も酷い状態です。この状態を伝えていく事も私達に課せられた使命ではないかと思えます。避難所の方々が一日も早く自宅に戻り普段の生活を取り戻せるように微力ながら私達も出来る事から少しずつしていきたいと思えます。

また茨城に行くことと約束して参りました。状況が刻一刻と変わる中、次回はどうのようなボランティアが一番有難いのかわかりませんが、どんなボランティアであろうと可能な限りは協力させてもらう気持ちでいます。



救援物資リスト

水	約1500本	パン	約550食
トイレトペーパー	約850本	オムツ(大人用)	約250個
オムツ(子供用)	約500個	粉ミルク	約15缶
ブルーシート	約20個	ガソリン(軽油)	約200L
乾電池	約50本		

米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2011年2月末	全国寄付金合計額	1,053,806,206円 (前年度比 0.98%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	60,213,945円 (前年度比 4.96%減)
2011年2月末	全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	76,771,502円	6. 第2580地区 55,568,355円
2. 第2750地区	60,639,480円	7. 第2770地区 47,555,592円
3. 第2660地区	60,213,945円	8. 第2780地区 38,746,000円
4. 第2590地区	55,813,100円	9. 第2820地区 36,622,000円
5. 第2760地区	55,671,608円	10. 第2640地区 35,877,420円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年2月)

氏名	回数	クラブ名
岩本 静江	2回目	大東中央RC
片岡 大	4回目	東大阪RC
樽本 文男	6回目	東大阪RC
南雲 龍夫	2回目	大阪RC
藤岡 靖夫	2回目	大阪西北RC
近藤 治郎	4回目	大阪西北RC
三宅 有	1回目	大阪西北RC
吉田 育弘	5回目	大阪西北RC
和泉 俊治	3回目	大阪天王寺RC
片淵 正一	1回目	大阪天王寺RC
高橋 博文	1回目	大阪天王寺RC
三宅 一嘉	5回目	大阪東南RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年2月)

氏名	クラブ名
東大阪RC	53回目
大阪天王寺RC	49回目

ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011年)

樽井 郁夫	豊中千里RC	2/ 4
松本 浩明	八尾東RC	2/11
品川 芳洋	八尾東RC	2/11
上田 郁生	八尾東RC	2/11
柳 啓二	八尾東RC	2/11
上島 一彦	箕面RC	2/25

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011年)

島 顕侑	4回目	東大阪東RC	2/22
池本 繁喜	4回目	八尾東RC	2/22
木村 久一	4回目	八尾東RC	2/22
桑田タア子	2回目	八尾東RC	2/22
森下 慶治	3回目	八尾東RC	2/22
長澤 徳治	3回目	八尾東RC	2/22
大橋 秀造	2回目	八尾東RC	2/22
奥田 長二	3回目	八尾東RC	2/22
大熊 實	3回目	八尾東RC	2/22
筒井 重之	3回目	八尾東RC	2/22
吉川日出子	2回目	八尾東RC	2/22
樋口 光弘	1回目	大東中央RC	3/ 2
橋本 泰明	1回目	守口RC	3/ 9
深田 清一	2回目	守口RC	3/ 9
藤江 正謹	3回目	大阪イブニングRC	3/ 9
渡邊 純一	2回目	大阪阿倍野RC	3/ 9
藤井 進次	4回目	大阪西北RC	3/16
西村 暲	4回目	大阪西北RC	3/16
瀬田川昭俊	3回目	大阪西北RC	3/16
高林 辰行	4回目	大阪西北RC	3/16

2011年3月度 会員数・出席報告

I-M組	クラブ名	7月期初会員数	3月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I-M組	クラブ名	7月期初会員数	3月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
			全員	女性										全員	女性						
I-M第1組	池田	39	40	3	2	1	1	5	67.57	66.63	I-M第5組	大阪北梅田	47	50	4	3	0	3	3	79.33	67.33
	池田くれは	35	33	1	2	4	-2	3	83.89	81.42		大阪西	77	75	0	5	7	-2	3	89.83	79.78
	箕面	31	29	1	0	2	-2	4	80.14	77.94		大阪大淀	47	53	0	9	3	6	5	89.02	75.61
	箕面中央	23	23	0	0	0	0	4	86.36	84.95		大阪リバーサイド	34	35	5	2	1	1	5	85.95	73.17
	豊中	47	44	3	3	6	-3	4	88.64	79.69		大阪西北	56	56	0	2	2	0	4	93.75	78.25
	豊中南	40	35	1	0	5	-5	5	75.71	69.23		大阪そねざき	49	46	29	0	3	-3	5	83.41	76.09
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	75.24	73.99		大阪梅田	43	38	0	1	6	-5	4	80.17	70.91
	豊中千里	38	35	2	0	3	-3	4	85.63	77.84		大阪梅田東	36	36	0	1	1	0	4	75.00	57.88
	小計	273	260	11	8	21	-13		80.40	76.46		大阪ユニバーサルシティ	27	27	2	1	1	0	3	83.33	74.36
													小計	676	687	47	45	34	11		85.56
I-M第2組	茨木	24	25	4	2	1	1	4	92.79	85.50	I-M第6組	大阪	251	258	0	24	17	7	4	72.68	60.59
	茨木東	42	41	4	1	2	-1	4	89.33	76.62		大阪東	117	120	0	5	2	3	5	94.70	78.95
	茨木西	27	29	6	2	0	2	4	90.52	77.59		大阪東淀ちゃやまち	33	34	3	1	0	1	3	94.72	86.71
	千里	43	43	0	1	1	0	4	88.95	74.34		大阪城東	47	51	6	4	0	4	4	79.85	72.95
	千里メイプル	25	26	2	1	0	1	4	85.29	75.49		大阪中之島	27	27	1	3	3	0	4	94.44	85.18
	摂津	39	41	2	3	1	2	4	85.64	70.58		大阪大手前	39	40	3	1	0	1	4	78.89	64.90
	吹田	61	61	6	3	3	0	3	95.65	89.52		大阪城北	60	56	2	0	4	-4	4	77.63	73.69
	吹田江坂	42	40	3	0	2	-2	4	94.70	84.10		大阪天満橋	68	66	0	0	2	-2	4	86.82	83.06
	吹田西	48	50	1	2	0	2	3	100.00	91.21		大阪鶴見	36	36	0	1	1	0	4	82.89	75.38
	高槻	44	45	3	6	5	1	5	92.03	85.80		大阪淀川	33	34	2	2	1	1	4	94.25	87.54
	高槻東	39	39	0	0	0	0	4	98.38	97.50		新大阪	37	37	0	2	2	0	4	80.27	75.00
	高槻西	24	23	0	0	1	-1	4	97.50	87.50		小計	748	759	17	43	32	11		85.19	76.72
	小計	458	463	31	21	16	5		92.57	82.98											
I-M第3組	大東	44	44	0	0	0	0	5	99.09	94.55	I-M第7組	大阪フレンド	15	16	4	1	0	1	5	91.43	75.71
	大東中央	30	31	12	1	0	1	4	84.17	76.79		大阪本町	25	26	2	1	0	1	5	83.50	69.02
	枚方	42	42	0	3	3	0	4	88.65	81.05		大阪御堂筋	37	36	0	0	1	-1	5	86.47	75.88
	門真	26	32	4	6	0	6	5	88.63	73.37		大阪南	125	137	0	14	2	12	4	83.13	71.57
	交野	28	31	1	3	0	3	4	84.14	83.31		大阪難波	47	44	0	4	7	-3	4	90.94	78.98
	香里園	17	17	0	1	1	0	4	83.82	72.06		大阪なにわ	32	30	2	2	4	-2	4	80.48	72.81
	くずは	56	58	0	5	3	2	5	74.62	70.00		大阪南西	19	18	4	0	1	-1	3	91.11	82.64
	守口	39	47	3	8	0	8	4	91.47	82.37		大阪西南	89	88	13	5	6	-1	5	98.80	78.41
	守口イブニング	27	26	4	0	1	-1	4	83.66	76.92		大阪船場	42	41	0	1	2	-1	3	95.00	79.00
	寝屋川	39	40	5	3	2	1	4	90.63	85.00		大阪心齋橋	37	39	0	2	0	2	4	96.02	89.15
	四條畷	12	12	0	0	0	0	5	76.97	71.52		大阪うつば	34	36	4	2	0	2	5	86.74	75.94
	小計	360	380	29	30	10	20		85.99	78.81		小計	502	511	29	32	23	9		89.42	77.19
	I-M第4組	東大阪	70	67	0	2	5	-3	4	86.23		77.95	I-M第8組	大阪阿倍野	15	14	1	0	1	-1	4
東大阪中央		38	39	0	3	2	1	3	86.80	83.07	大阪平野	37		37	3	3	3	0	5	94.98	83.85
東大阪東		67	65	6	0	2	-2	4	79.49	63.84	大阪イブニング	21		19	5	0	2	-2	5	81.05	61.05
東大阪みどり		26	27	1	1	0	1	5	86.67	65.19	大阪城南	54		57	0	4	1	3	4	98.11	91.42
東大阪西		37	37	0	0	0	0	3	93.33	69.83	大阪咲洲	19		19	1	1	1	0	5	86.32	64.21
大阪柏原		30	31	3	2	1	1	4	89.55	87.70	大阪住之江	22		21	0	0	1	-1	4	95.45	73.78
大阪ネクスト		18	18	6	0	0	0	4	61.25	34.75	大阪住吉	28		28	3	1	1	0	4	88.30	70.59
八尾		84	80	0	0	4	-4	5	98.51	72.25	大阪天王寺	60		62	0	4	2	2	4	94.40	85.26
八尾中央		21	22	3	1	0	1	5	84.94	79.26	大阪東南	52		52	0	3	3	0	4	92.31	67.99
八尾東		26	25	3	1	2	-1	4	66.90	58.42	小計	308		309	13	16	15	1		90.46	73.88
小計	417	411	22	10	16	-6		83.37	69.23												
I-M第5組	大阪中央	57	54	6	1	4	-3	4	93.52	76.04	合計	クラブ数	7月期初会員数	3月末会員数	女性会員	入会者数累計	退会者数累計	増減	平均出席率	平均出席率	
	大阪堂島	28	31	1	3	0	3	3	89.25	88.17		84	3742	3780	199	205	167	38	86.6	76.1	
	大阪北	175	186	0	17	6	11	5	84.16	69.48											

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

- 「ロータリーへの道(三訂版)」 ポール・ハリス著 柴田實訳 2011 372p
[申込先：成田RC FAX(0476)33-8786]
- 「ロータリーの日常の知識(A Talking Knowledge of Rotary)」 三木 明訳 2010 83p
[申込先：三木 明 FAX(079)223-2477]
- 「決議23-34について」 山崎 勝 2010 32p (D.2720 ガバナー月信総集編)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「職業奉仕の目ざす所」 勝野露観 2010 12p (D.2640 職業奉仕その心と今日的役割)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「ロータリアンの職業宣言について考えること—『職業奉仕の現在的意義』」
北岡 満 2010 4p (D.2640 職業奉仕その心と今日的役割)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「『四つのテスト』の解釈について」
辻林俊彦 2010 2p (D.2640 職業奉仕その心と今日的役割)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- 「ロータリー入門書2010~2011年度版」 前原勝樹・重田政信 2010 197p
[申込先：北斗事業出版 TEL(03)5207-6681]
- 「ロータリークラブ 簡単図解」 鈴木章夫 2011 12p (D.2520)
[申込先：ロータリー文庫]
- 「カンボジア・ベトナム海外研修」 柏木希予 2010 1p (D.2650 インターアクト海外研修報告)
[申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

ニュージーランド地震義援金に対する御礼

ニュージーランド地震の被災者を救援するため義援金を募集いたしましたところ、各クラブから多くの義援金が多寄せられました。義援金の総額は、2,924,988円となりました。

皆様の義援金は、ニュージーランドおよび太平洋諸島のロータリークラブからなる Rotary New Zealand Community Service に送金して、地震の被災者の支援に活用されます。

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 新太郎
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

「お知らせ」

茨木RC 例会場変更

変更日：2011年4月6日(水)より

新会場：とり条別館 割烹片桐2F

〒567-0882 茨木市元町6-3

TEL (072) 626-2722

八尾RC 事務局移転

移転日：2011年5月2日(月)より

新住所：〒581-0116 八尾市清水町1-6-6

八尾商工会議所 208号室 (TEL・FAXは変更なし)

八尾中央RC 事務局移転

移転日：2011年5月2日(月)より

新住所：〒581-0116 八尾市清水町1-6-6

八尾商工会議所 207号室

新Eメール：yaocentrc@pearl.ocn.ne.jp

(TEL・FAXは変更なし)

東日本大震災義援金に対する御礼

東日本大震災で被害に遭われた方々を救援するため、地区内のロータリアンの皆様に義援金をお願いいたしましたところ、4月11日の第1回締切りで総額が57,331,594円となりました。地区内の各クラブからだけでなく、台湾、韓国、タイ、ドイツの方々からも義援金が寄せられました。皆様からの義援金は4月12日にガバナー会に送金いたしました。義援金は被災地区のガバナーに配分され、被災者救援に活用されます。

皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします。

なお、第1回の締切り後も義援金の受付をいたしますので、引続きご支援をお願い申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 新太郎
社会奉仕委員会 委員長 表 寛治

■ガバナー会からの報告 (2011年4月11日付)

1. 4月11日までに集まった義援金の総額は491,621,786円です。
2. 義援金のうち、見舞金として当該ガバナー宛に下記の金額を送金しました。(4月4・5日)
 - ・ 第2520地区(岩手・宮城)に 5,000万円
 - ・ 第2530地区(福島)に 3,000万円
 - ・ 第2820地区(茨城)に 1,000万円
 - ・ 第2550地区(栃木)に 500万円
 - ・ 第2790地区(千葉)に 500万円

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

渡辺 宏道 会員 (豊中RC) 2011年 1月14日逝去(享年83歳)

会長、副会長、幹事、理事
クラブ奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、青少年奉仕委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

藤井 禧進 会員 (大阪西南RC) 2011年 3月15日逝去(享年85歳)

会長、国際奉仕担当理事
会員増強委員長、職業分類委員長、プログラム委員長、会報委員長
世界社会奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学委員長
米山功労者(マルチプル)、ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

和中 裕 会員 (大阪北RC) 2011年 3月22日逝去(享年63歳)

理事、青少年活動委員長、米山奨学委員長、S. A. A.
ロータリー情報委員長、ロータリー財団委員長
米山功労者(マルチプル)、ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

勝見 哲朗 会員 (大阪天満橋RC) 2011年 3月31日逝去(享年75歳)

出席委員長、会報委員長
米山功労者(マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

清水 英文 会員 (大阪リバーサイドRC) 2011年 4月 2日逝去(享年71歳)

会長、幹事、理事、
会員増強委員長、広報委員長、規定情報委員長
米山功労者、ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中川 章三 会員 (大阪城南RC) 2011年 4月 8日逝去(享年90歳)

1996～1997年度ガバナー、チャーターメンバー
会長、理事、国際奉仕委員長、広報委員長、クラブ奉仕委員長
R財団・米山委員長、会員選考委員長、IGFフォーラム委員長
米山功労者(マルチプル)、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
夏期
2011年 8月12日(金)～
2011年 8月17日(水)
年末年始
2011年12月29日(木)～
2012年 1月 4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館 6階
TEL：06-6264-2660
FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

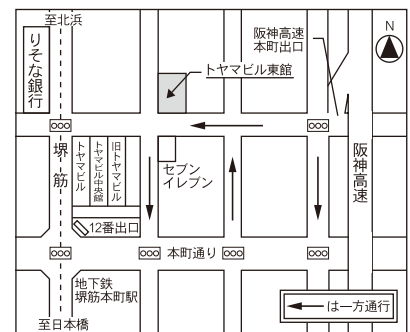
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp